

拝啓 今年も早や4月下旬となりました。お変わりございませんか。いつもエンカウンターをお読み頂きありがとうございます。新緑のきれいな頃となり、近所の公園ではハナミズキが、白い花びらを天空に向かって咲かせております。又我が家では玄関のプランターのパンジー、ビオラが今年は特にきれいに咲いています。連休の頃には、軒下のスイトピーが満開になり、道行く人の目を楽しませてくれるでしょう。

今月は、石館守三先生の文章の7回目です。前々号から、同志会の百周年記念事業として同志会OBの村上劉治さんが編纂された資料「石館守三先生金曜会語録」から、同志会と石館基さんの御許可を得て、引用させて頂いております。石館先生が、学生に対して、毎月このように丁寧に話し、質問にも答えておられたことに感動致します。それを30年以上も続けられました。同志会の「金曜会語録」の外に、石館守三先生が高円寺東教会で話された説教のCD-ROMも聞いていますが、実に素晴らしい内容です。小西芳之助先生とは違って、ヨハネ伝、ヘブル書などを題材に話されることが多いのですが、励まされる説教です。一言で言えば、志を立てよ、意義ある人生を送れ、という内容が多いように思います。私は、若い頃は石館先生の話をおあまりよく理解出来ませんでした。今70代の始めに立って、石館先生の勧めに従い、残された人生を意義あるものとなるよう、努めたいと思います。

4月12日から16日まで、タイにいる次男一家に会ってきました。次男はタイ人の女性と結婚し、2歳の孫がいます。始めて、その孫の顔を見て遊んできました。プーケット島のそばのカオ・ヤオ・ノイ島で休暇を取っているところに招かれましたが、海岸での遊びや半日の小舟での島めぐりなどよい休暇を楽しんで来ました。

4月19、20日は、学生時代の山の会の友人たちと、一泊旅行で、千葉県の大吠岬に行きました。大吠岬付近の海岸を散歩しましたが、雄大な景色で、愉快でした。この会は、私が万年幹事で、毎年夫人も含めた家族旅行で39回目でした。長く続いている山の友人はいいものです。

6月から9月にかけて、「南原先生の生涯から学ぶ」というような題で、数回講演などに招かれています。忙しいですが一つ一つきちんと準備し、よい話が出来るように努めてまいりたいと思います。8月には、鳥居勇夫さん主宰の安曇野集会で、日野原重明先生の前座を務めさせて頂くことになりました。

それでは、皆様、これから1年で最も気候のよい時期を迎えます。どうかお身体ご自愛の程、祈り申し上げます。

敬具

平成26年4月24日

山口周三

エンカウンターのご読者各位